

児童の実態シート

習熟度	A組 児童数 20名 学力は全体的に高め	B組 児童数 25名 学力は全体的に中程度	C組 児童数 15名 学力は全体的に低め
人間関係	・全体的に明朗。 ・全体的に個人で考えたり活動したりするのを好む傾向がある。	・全体的に、皆で協力し合おうとする雰囲気がある。 ・受容的な雰囲気がある。	・全体的に明朗快活。 ・相手の気持ちを考えない乱暴な言動が時々見られる。 ・受容的な雰囲気がある。
学習の様子	・教師に指示されたことには、まじめに取り組む児童が多い。 ・人前で自己の考えを発表するのが苦手な児童が多い。 ・友達の考えの良さを自分の考えに生かすことが苦手な児童が多い。 ・全体的にドリル学習を好む傾向がある。	・教師に指示されたことには、まじめに取り組む児童が多い。 ・授業中に落ち着きに欠ける児童が3人いる。 ・グループ活動を好む児童が多い。 ・学習内容が定着しづらい児童が数名いる。 ・具体物を使った操作活動を好む児童が多い。 ・自分の考えに自信が持てない児童が全体の約半数程度いる。	・教師に指示されたことには、まじめに取り組む児童が多い。 ・全体的に創意工夫する姿が見られない。 ・じっくり考えることが苦手な児童が多い。 ・発言することに消極的 ・学習したことが定着するのに時間がかかる。 ・全体的に作業に手間取る。 ・かけ算九九が十分でない児童が5人いる。 ・二けたの減法でつまずきやすい児童が5人いる。
参考資料	標準学力検査の結果 【算数】 段階5（5名） 段階4（12名） 段階3（20名） 段階2（17名） 段階1（6名） 【国語】 段階5（4名） 段階4（18名） 段階3（22名） 段階2（13名） 段階1（3名）		
強み（+）			
弱み（-）			

算数科学習指導案(略案)

- 1 単元名
- 2 本時のねらい
教科のねらい

○キャリア発達にかかわるねらい

能力

3 展開

	学習活動	時	育てたいキャリア能力と支援(○)
導入			
展開			
振り返り			

算数のキャリア諸能力分析表

人間関係形成能力	自他の理解能力	☐ 友達の考え方（解決方法）のよさを認める ☐ 友達の考え方のよさを取り入れて、自分の考えを練り直す ☐ 問題解決の過程を振り返り、学習内容の定着を確認する
	コミュニケーション能力	☐ 自他の考えを比べながら聞く ☐ 自分の考えを分かりやすく発表する ☐ よりよい考えに練り上げる ☐ 多様な考えを発表し合う ☐ 多様な考えのよさを感じる ☐ 自分の考えのよさを主張する
	情報活用能力	☐ 問題解決に必要な情報を整理し、的確につかむ（抽象化・記号化・分類整理） ☐ 発表された意見の共通点や相違点を見つける ☐ 問題や結果を簡潔・明瞭・的確に表現する ☐ データを帰納的に処理し、共通する事柄を見いだす
	職業理解能力	☐ 日常生活と算数で学習したことの関連を理解する ☐ 自分が何をしなくてはならないのかという目的をもつ

将来設計能力	役割把握・認識能力	☐ 統合的な考え方により、認識を深める
	計画実行能力	☐ 見通しを立てる ☐ 問題解決の結果や方法について見通しをもつことの大切さに気づき、解決の手順が分かる ☐ 目的にあった行動をしようとする ☐ 行動の途中でも目的を明確に持ち続ける ☐ 類推的な考え方をする
	意思決定能力	☐ 「正しいのはどれだろう」と論理的に判断しようとする ・多様な考えの中から、正しいものを選ぼうとする ・多様な考えの中から、目的にあった方法を選ぼうとする ☐ よりよい法則や方法を選択しようとする
	課題解決能力	☐ 筋道立った考え方をしようとする ☐ よりよいものを求めようとする ☐ 自分の力で解決しようとする ☐ 発展的な考え方をする（より一般的なより新しいものを発見していくとする） ☐ 概念の形成のために一般化の考え方をする ☐ 一般化された考えを用いて、課題を解決しようとする ☐ 疑問をもつ ☐ 自ら問題を発見する